

2026 年度入学前アンケート調査結果報告

<調査概要>

☐ 調査の方法

調査対象 2026 年度学部入学者

調査時期 2026 年 4 月 3 日

調査方法 入学手続き時にダウンロードし、入学式に持参

回収状況 回収率 94.4%（対象者数 6,172 人、有効回収数 5,829 件）

☐ グラフ参照時における共通注意事項

端数処理の関係上、合計と内訳が小数点第一以下で一致しないことがある。

1 入学理由

図1は、「入学理由」に関する設問に対する回答結果である（「当てはまる」～「まったく当てはまらない」の4件法）。

図では、肯定的回答（「当てはまる」または「やや当てはまる」と回答した者の割合。以下同様）を左側に配置している。

「専門分野に興味があったから」の肯定的回答が87.2%と最も高く、入学者の多くが、学部・学科の専門分野に関心を持って入学していることがうかがえる。また、「自分の学力レベルと合っていたから」は78.0%、「将来就きたい仕事と関係があるから」は76.6%であり、学力面での適合感や将来の進路との関連も、入学理由の主要な要素となっている。

以上の結果から、入学理由は、専門分野への関心、学力面での適合感、将来の進路との関連を中心としていることが確認された。一方、「より志望順位の高い大学（又は学部）に受からなかったから」も51.2%であり、入学理由は多面的であることがうかがえる。

入学理由

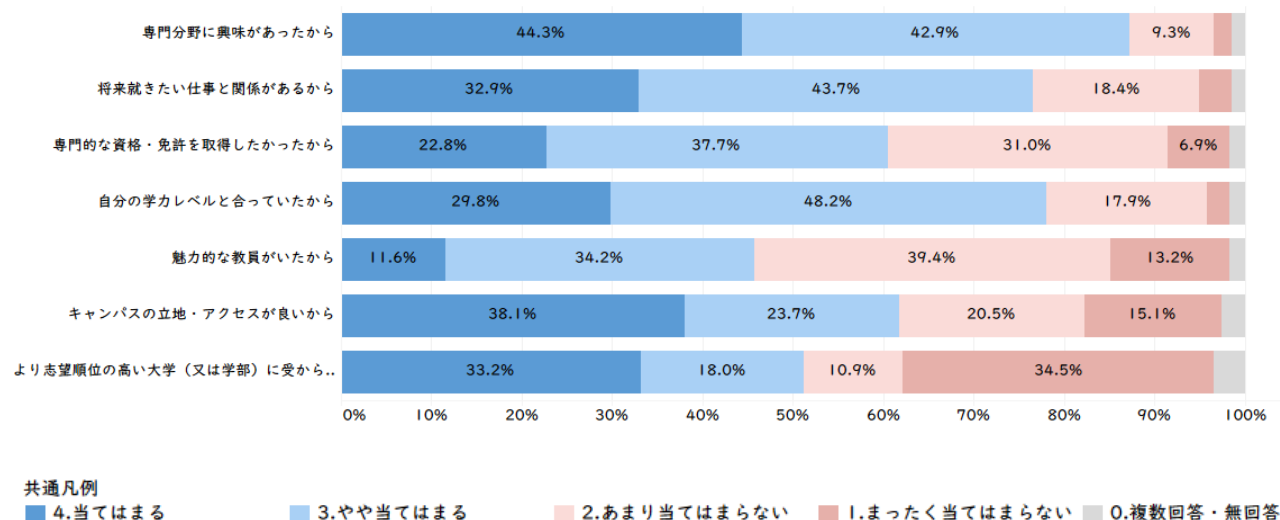


図1 入学理由

2 入学前の経験

図2は、「あなたは、入学前に次のようなことをどの程度経験しましたか」という設問に対する回答結果である（「よく経験した」～「ほとんど経験しなかった」の4件法）。

図では、肯定的回答（「よく経験した」または「ある程度経験した」と回答した者の割合。以下同様）を左側に配置している。

「友人との交流」の肯定的回答の割合は95.6%と最も高く、「定期テストや模試対策の勉強」も86.5%であった。また、「生徒同士の議論」77.5%、「先生との交流」75.9%、「自分の考えや意見の発表」75.8%なども高く、学習活動に加えて、交流、発表、議論に関する経験を有する入学者が多いことがうかがえる。

以上の結果から、入学者は、入学前に基礎的な学習活動や他者との交流を経験しているだけでなく、自分の考えを表現し、他者と議論する経験も一定程度有していることが確認された。一方、「海外の人との交流」は37.7%であり、項目によって経験の程度には差がみられた。

入学前の経験

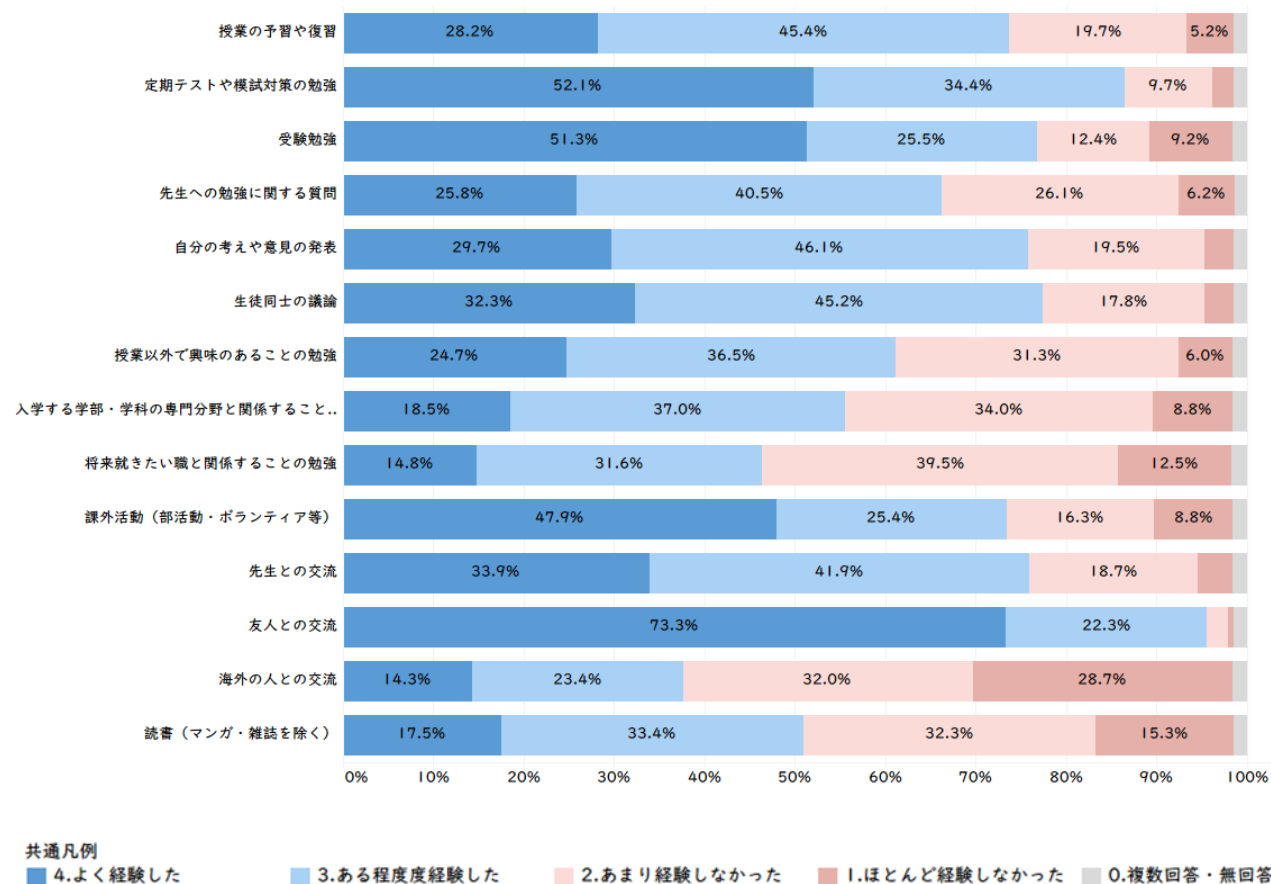


図2 入学前の経験

以上